

**脱炭素経営に係る支援体制構築業務  
公募型プロポーザル選定委員会議事録要旨**

項 目	内 容
1	日 時
2	場 所
3	出席委員
4	議 題
5	担当部署
6	開催方法
7	議事内容

令和8年6月1日（月）9:00～11:50、14:00～16:40

オンライン

環境県民局 環境政策課長  
環境県民局 環境保全課長  
環境県民局 循環型社会課長  
商工労働局 自動車・新産業課長  
商工労働局 環境・エネルギー産業課長

脱炭素経営に係る支援体制構築業務の企画提案内容の審査

環境県民局 環境政策課

オンライン

1 審査方法  
提案された企画提案書を基にプレゼンテーションを行い、選定委員会において審査の上、最優秀提案者を選定した。

2 審査対象者（参加資格確認申請書受理順、最優秀提案者：（◎））  
A社 株式会社NTTデータ  
B社 公益財団法人中国地域創造研究センター  
C社 株式会社フォーバル  
D社 株式会社PoliPoli  
E社 MS&ADインターリスク総研株式会社  
F社 株式会社電通西日本広島支社（◎）  
G社 アークエル株式会社  
H社 一般社団法人環境エネルギー事業協会  
I社 有限責任監査法人トーマツ  
J社 ひろぎんエリアデザイン株式会社

3 審査結果  
（1）審査対象者の評価値  
別紙のとおり  
  
（2）各提案者に対する意見  
【A社】  
・活用を想定している支援プラットフォームがA社独自のものであり、優位性は評価できるが、次年度以降への継続性が懸念される。  
・県内ネットワークにやや懸念がある。

- ・他の自治体への同様業務の実績があり、そのノウハウを活用した有効な事業実施が見込まれる。

**【B社】**

- ・WGにおける具体的なテーマ設定や、各WGの連動など効果的な提案となっている。
- ・過去の実績を通じて、多くの連携先を有している。

**【C社】**

- ・全体会議の論点やプログラム案が明確であり、創意工夫も感じられる。
- ・WGにおいて、仕様書記載の現状の課題や解決策の方向性等の整理を行う企画となっていない。着眼点としては興味深い。
- ・支援メニューの収集方法が具体的に記載されていない。

**【D社】**

- ・セミナー等について、独自ルートによる集客方法がなく、他者に比べ提案が弱い印象。
- ・支援メニューの整理方法は利便性に優れている。
- ・コンソーシアム運営経験があり、課題も踏まえた円滑な運営が期待できる。

**【E社】**

- ・全体会議における中間報告の実施は、将来的な取組の課題の整理などに有効と思われる。
- ・WGにおける具体的なテーマや論点の提案内容が乏しい。
- ・会議の具体的な検討内容のイメージに乏しい。

**【F社】**

- ・WGにおける論点が明確に提示されており、優れている。
- ・マッチングイベントにおける連携先が具体的にっており、過去実績からも高い実効性が期待できる
- ・豊富な実績やマスメディアを活用した広報活動など、施策効果が期待できる。
- ・見積の内訳詳細が不明。

**【G社】**

- ・セミナー・相談会における講師については、柔軟な対応とあるが、より具体的であれば良かった。
- ・県内機関等とこれまで接点がありません、実施体制の構築が未知数である。

**【H社】**

- ・全体会議について、論点を掘り下げ提示されており、優れている。
- ・支援メニュー整理において、支援の導線をつなぐという目標に向けて、具体的な提案を行っている。

		<p><b>【 I 社】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・会議やWGにおける具体的なテーマや論点の提案内容が乏しい。</li><li>・セミナー後名刺交換は、情報収集や横連携を模索している企業にとっては有効な方法であると考える。</li><li>・マッチングイベントについて、事務局の積極的なサポート体制があり、優れている</li></ul> <p><b>【 J 社】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・セミナー開催において、事例紹介で経営者に登壇いただく提案は自分ごとと認識するための方法として評価できる。</li><li>・地域に根差した事業者であり、地域企業情報に基づく効果的な集客が期待できる。</li></ul>
--	--	--